

アメリカ・インディアン関係書誌

伊 藤 聰

1993年の国連による国際先住民年以來、世界の先住民に対する関心はにわかには高まり、我が国においても、それに応じてアメリカ・インディアン関係の書籍の出版も相次ぐようになった。

筆者がはじめてインディアンの教育に関する論文を著わした1983年頃から書き留めてきたインディアン関係の書籍の一覧表をここに紹介したい。1984年に簡単な「インディアン関係読書案内」を作成した時点では、書籍数は28点であった。その後、かなり多くの書籍が出版されて現在に至っているが、これらを通して見てみると、以下のような特徴が挙げられる。

1) 1960年代初頭は、「アメリカ史」というタイトルを持ちながら、インディアンに関する記述がほとんどないものがある。どこの図書館の棚にもこの種の「アメリカ史」が数多く並んでいる。また、インディアンの「イ」の字もないものもみられる。このことは、アメリカ人著者によるものも、日本人著者によるものも同様である。これはおそらく、インディアンに対する当時のアメリカ社会の態度の一部を反映しているのであろう。つまり、インディアンは絶滅して今は存在しない、あるいは、フィードラーがいうように、インディアンに対して罪悪感を持っているのでインディアンのことは忘れてしまいたい、ということである。そして、日本人著者はアメリカ人著者による資料などに頼ることが多いからであろう。

他方で、時代の変化とともにインディアンについて1章以上設けている

ものが現れてくる（中央公論社『新大陸と大平洋』「世界の歴史」11，河出書房新社『新大陸に生きる』「生活の世界歴史」9）。

- 2) 翻訳ものが多い。特にインディアン史そのものや宗教・精神生活を扱ったものにそれがいえる。資料入手の可能性の問題であろう。
- 3) 他方、「現代インディアン」の分野では、1980年頃から日本人による本が多く見られるようになる。これは、インディアンに対する関心が高まったことと、アメリカ合衆国へ、さらにはインディアン居留地や都会のインディアン・コミュニティなどへの接近が比較的容易になったことによるものであろう。
- 4) かつてのいわゆるハリウッド西部劇とは異なり、偏見などが見られる書物は意外に少ない。これは、著者がインディアンに積極的な関心をもって取り組んでいるからであろうか。
- 5) フィクションは、近年急激に増加している。これも、インディアンに対する関心が深まっていることと、現地ではインディアン作家が多く登場し、彼等の作品が高く評価される状況が生まれてきていることによるものであろう。

次に、当インディアン書誌の構成上の制約や特徴について以下に列挙する。

- 1) ここでいう「インディアン」とは、1988年のインディアン教育法第5351条第4項に規定されている者で、イヌイト（当法では「エスキモー」）、アリュートを含む。
- 2) カナダ・インディアンを含む。量的には多くはない。
- 3) 出版年代順である。
- 4) 書籍等の記述方法は複数あるが、ここでは書誌として見易いことを第一に考えた。
- 5) 内容が多岐にわたるなど、分類が困難なものがかかなりある。筆者独自の判断によったが、およその基準は次のとおりである。
 - (1) 歴史：通史，部族史，個人史を含む。

- (2) 生活・文化：記述の対象が歴史的に古いか新しいかを問わない。
 - (3) 宗教・精神世界：宗教，精神世界，自然観，人生観などを含む。
 - (4) 現代のインディアン：日常生活から政治，復権運動まであらゆる面を含む。
 - (5) 神話・伝説：神話，伝説，民話を含む。
 - (6) 文学：小説，詩歌，評論などを含む。
 - (7) 幼児・児童向け：上記の分類にかかわらず，子供用の書籍のすべてを含む。
 - (8) 漫画：(7)と同様にすべての面を含める予定であったが，全部で7点のみである。
- 6) 全集ものの『世界の歴史』に類するものの中の「アメリカ」などの巻では，インディアンについて1章を設けてあるもののみを取り上げた。例えば，河出書房の全集『世界の歴史』の中の「アメリカ大陸の明暗」では，インディアンについての言及が3ページ足らずなのでここでは取り上げなかった。
- 7) その他のアメリカについて何か特定のテーマをとり扱った書籍については，およそであるがインディアンについて相当数ページをさいているものを含めた。
- 8) いわゆる「写真集」や，写真を中心にしたものが数点あるが，特に分類項目は設けなかった。
- 9) すでに絶版のものもあるが，掲載した。
- 10) 改訂版が出ているものの出版年については，初版年で示した。

上記のように制約や問題点を含んではいるが，以下のような筆者なりのインディアン関係書誌を作成してみた。改めてインディアン関係の出版物の多さ，つまりは日本人のインディアンに対する関心の深さに驚く。

いずれ，分類がさらに細かいもの，あるいは，注釈つきの書誌を作成したいと考えている。

[追記1] インディアン関係の書籍が新しく出版された時や、書店の棚で発見した時にそれまでのリストに追加してきたのであるが、2000年のある時点で、1つの書誌が発表された。「インディアンの声を聞け」(ワールドフォトプレス)の中に掲載された『ネイティブ・アメリカンを識るための本207』である(菊月俊之・朝田月代構成)。注釈付きの優れた書誌である。取り上げられた総点数はタイトルにあるとおり207点である。筆者の場合は、2000年の時点で262点である。内容的にみると、お互いに、取り上げてあるもの、ないものがある。

[追記2] 本書誌の作成にあたり、本学図書館の丹羽直美司書に大変お世話になりました。ここに記して感謝の意を表します。

(2002, 12, 14 脱稿)

(1) 歴史	
中屋健一・別枝達夫	「新大陸と太平洋」(『世界の歴史』11) 中央公論社 1961
リチャード・B・モリス	「新大陸」(『ライフ 合衆国の歴史』第1巻清水博訳) 時事通信社 1965
T・ハリー・ウィリアムズ	「南北戦争」(『ライフ 合衆国の歴史』第6巻, 井手義光訳) 時事通信社 1966
新保 満	『カナダ・インディアン 滅びゆく少数民族』三省堂 1968
清水 博 編	「アメリカ史」(『世界各国史』8) 山川出版社 1969
清水 知久	『アメリカ・インディアン 発見からレッド・パワーまで』中央公論社 1971
チーフ・ウィリアム・レッド・フォックス	『白い征服者との闘い アメリカ・インディアン酋長レッド・フォックスの回想』(秋山一夫訳) サイマル出版会 1971
サミュエル・モリソン	「1815年ー1900年」(『アメリカの歴史』2, 西川正身翻訳監修) 集英社 1971

アメリカ・インディアン関係書誌

ディー・ブラウン	「わが魂を聖地に埋めよ アメリカ・インディアン闘争史」上, 下巻 (鈴木主税訳) 草思社 1972
J.G. ナイハルト	『終わりなき夢と闘い あるインディアンの生涯』(大島良行訳) 合同出版 1973
藤永 茂	『アメリカ・インディアン悲史』朝日新聞社 1974
上田 伝明	『インディアン憲法崩壊史研究』日本評論社 1974
猿谷 要	「新大陸に生きる」(『生活の世界歴史』9) 河出書房新社 1975
ベンジャミン・キャップス	『インディアン』(大島良行訳) タイム・ライフ・ブックス 1976
ジョン・コスター	『この大地, わが大地 アメリカ・インディアン抵抗史』(清水知久訳) 三一書房 1977
ウィルコム・E・ウォシュバーン	『アメリカ・インディアン その文化と歴史』(今津晃・齋藤眞監修 富田虎男訳) 南雲堂 1977
ロバート・クレイボーン	「最古のアメリカ人」(『ライフ人類100万年』, タイムライフブックス編集部編 大貫良夫訳) タイムライフブックス 1977
J. M. S. ケアレス	『カナダの歴史』(清水博・大原祐子訳) 山川出版社 1978
富田 虎男	『アメリカ・インディアンの歴史』雄山閣 1982
ハワード・ジン	『民衆のアメリカ史』上巻 (猿谷要監修 富田虎男訳) ティビーエス・ブリタニカ 1982
ウィリアム・T・ヘーガン	『アメリカ・インディアン史』(西村頼男・野田研一・島川雅史共訳) 北海道大学図書刊行会 1983
D・チーフ・イーグル	『ウインター・カウト スー族の酋長が記したアメリカ・インディアンの歴史』(神田英次訳) 誠文堂新光社 1983
清水 知久	「近代のアメリカ大陸」(『<ビジュアル版>世界の歴史』15) 講談社 1984
フリードリッヒ・エンゲルス	『家族・私有財産・国家の起源 ルイス・H・モーガンの研究に関連して』(戸原四郎訳) 岩波書店 1984
大原祐子, 馬場伸也編	『概説カナダ史』有斐閣 1984
猿谷 要 編	「アメリカの戦争」(『世界の戦争』8) 講談社 1985

清水 知久	『米国先住民の歴史 インディアンと呼ばれた人びとの苦難・抵抗・希望』明石書店 1986
ウィリアム・ラフリン	「極北の海洋民 アリュート民族」(『世界の民族史』3, スチュアート・ヘンリ訳) 六興出版 1986
鶴谷 壽	『アメリカ西部開拓博物誌』PMC 出版 1987
トーマス・L・ウェッバー	『奴隷文化の誕生』(西川進監訳 竹中興慈訳) 新評論 1988
中屋 健一	『新米国史』誠文堂新光社 1988
デニス・バンクス	語り『聖なる魂 現代アメリカ・インディアン指導者デニス・バンクスは語る』(森田ゆり執筆) 朝日新聞社 1989
J.H. グレグ・スミス	「北極地方のエスキモー」(『先住民シリーズ』1, 河津千代訳) リブリオ出版 1989
ロビン・メイ	「北アメリカのインディアン」(『先住民シリーズ』2, 河津千代訳) リブリオ出版 1989
豊浦 志朗	『叛アメリカ史』筑摩書房 1989
ブライアン・M・	『ハウ・コラ インディアンに学ぶ』NHK 出版 1991
ポール・ラディン	『ある森林インディアンの物語』(滝川秀子訳) 思索社 1991
エドマンド・ウィルソン	『森林インディアン イロクオイ族の闘い』(村山優子訳) 思索社 1991
加藤 恭子	『大酋長フィリップ王 消されたアメリカ・インディアン』春秋社 1991
シオドーラ・クローバー	『イシ 北米最後の野性インディアン』(行方昭夫訳) 岩波書店 1991
アーネスト・S・バーチ Jr. 著	スチュアート・ヘンリ訳「図説 エスキモーの民族誌」(原書房) 1991
上村英明	『先住民族「コロンブス」と闘う人びとの歴史と現在』解放出版社 1992
フィリップ・ジャカン	「アメリカ・インディアン 奪われた大地」(『知の発見創書』20, 富田虎男監修 行方昭夫訳 創元社) 1992
赤澤 威 他編	「最初のアメリカ人」(『アメリカ大陸の自然誌』2) 岩波書店 1992

アメリカ・インディアン関係書誌

歴史学研究会 編	「他者との遭遇」(『南北アメリカの500年』第1巻) 青木書店 1992
トーマス・R・バージャー	『コロンブスが来てから 先住民の歴史と未来』(藤永茂訳) 朝日新聞社 1992
ウィリアム・L・ホロン	『アメリカ・暴力の歴史』(中山容・福本麻子共訳) 人文書院 1992
鶴月 裕典	「ジャクソン期インディアン強制移住政策とインディアン」(『常識のアメリカ・歴史のアメリカ』所収) 木鐸社 1993
ロナルド・ライト	『奪われた大陸』(香山千加子訳) NTT出版 1993
(ワールド・ムック 38)	『ウェスタン物語』 ワールドフォトプレス 1994
和栗 隆史	『ポカホンタス』 講談社 1995
マリー・クロウ・ドッグ	『ラコタ・ウーマン』(石川史江訳) 第三書館 1995
スーザン・小川	『アメリカ・インディアン 死闘の歴史』 三一書房 1995
ジャック・M・ウェザフォード	『アメリカ先住民の貢献』(小池佑二訳) パピルス 1996
メアリー・ローランソン, ジェームズ・シーウアー	『インディアンに囚われた白人女性の物語』(白井洋子訳) 刀水書房 1996
ケント・ナーバーン	『忘れられた道 ある老インディアンとの心の旅』(児玉敦子訳) 講談社 1997
アレックス・ビーラー	『そして名前だけが残った』(片岡しのぶ訳) あすなる書房 1998
高村 宏子 他編	『アメリカ合衆国とは何か 歴史と現在』 雄山閣出版 1999
上村 英明	『先住民の『近代史』植民地主義を超えるために』 平凡社 2001
スティーブン・J・クラム	「ウエスタン・ショショーニの歴史」(『世界人権問題叢書』40, 齊藤省三訳) 明石書店 2001
アーリーン・ハーシュフェルダー	『ネイティヴ・アメリカン 写真で綴る北アメリカ先住民史』(猿谷要日本語版監修 赤尾秀子・小野田和子訳) BL出版 2002

(2) 生活・文化	
ルイス・H・モーガン	『古代社会』上, 下巻 (青山道夫訳) 岩波書店 1958
チャールズ・ハミルトン	『滅びゆくインディアン』(和巻耿介訳) 大陸書房 1969
佐藤 年男	『アメリカのことばとところ』至誠堂 1971
東大北方文化研究所	『インディアン生活術』KK・ロングセラーズ 1976
デイヴィッド・ホロウェイ	『ルイスとクラーク 北米大陸横断』(池央耿訳) 草思社 1977
小泉 文夫	『エスキモーの歌』青土社 1978
ヒュー・プロディ編纂	「北極圏」(エドワード・エバンス=プリチャード著 梅棹忠夫監修『世界の民族』第16巻, 蒲生正男監修 中山邦紀訳) 平凡社 1978
祖父江孝男監修	「北アメリカ」(エドワード・エバンス=プリチャード著 梅棹忠夫監修『世界の民族』第20巻) 斎藤雅子訳 平凡社 1978
青木 晴夫	『アメリカ・インディアン』講談社 1979
岡田 宏明	『文化と環境』北海道大学図書刊行会 1979
原 ひろこ	『子どもの文化人類学』晶文社 1979
ポール・ラディン	『あるインディアンの自伝』(滝川秀子訳) 思索社 1980
米山 俊直他 訳編	「北アメリカ」(『世界の民族と生活4』) ぎょうせい 1980
原 ひろ子	「ヘヤー・インディアンの皮なめし」(『季刊 民族学』11所収) 国立民族博物館 1980
煎本 孝	「森の男 カナダ・インディアンの夏」(『季刊 民族学』13所収) 国立民族博物館 1980
煎本 孝	「トナカイが来る時」(『季刊 民族学』16所収) 国立民族博物館 1981
アンソニー・A・スラッシャー	『エスキモーの息子たちへ』(上野渥子訳) すずさわ書店 1981
井畑 美成	「未知の平原に行く」(C.W.ニコル, 田淵義雄監修『冒険家の森』所収) クロスロード 1982

アメリカ・インディアン関係書誌

細井 忠俊	「よみがえるトーテムポール」(『現代の人類学』第3号所収) 至文堂 1984
青木 晴夫	『滅びゆくことばを追って』三省堂 1984
明石紀雄, 飯野正子	『エスニック・アメリカ』有斐閣 1984
エドワード・S・カーティス写真	「北米インディアン悲史 エドワード・カーティス写真集」(富田虎男監修 金関寿夫・横須賀孝弘訳) アポック社出版局 1984
ウィリアム・トムキンス	『インディアンは手で話す』径書房 1986
ヒラリー・スチュアート	『森と川のインディアン』(渡辺義彦編著 木村英明, 木村アヤ子訳) 雄山閣 1987
鈴木 秀夫 他	「北極圏の民族と自然」(『言語』Vol.16, No.10 所収) 大修館書店 1987
宮岡 伯人	『エスキモー 極北の文化誌』岩波書店 1988
ハシ	『アメリカ・インディアン』(写真集) 福武書店 1989
宮岡 伯人	「北アメリカ先住民の言語」(『言語』Vol.18, No.7 所収) 大修館書店 1989
ルイス・H・モーガン	『アメリカ先住民のすまい』(上田篤監修 古代社会研究会訳) 岩波書店 1990
エルマン・R・サーヴィス	「アメリカ南西部のナバホ族」(『民族の世界』増田義郎監修) 講談社 1991
北澤 方邦	『蛇と太陽とコロンブス』農文協 1992
宮岡 伯人	『北の言語：類型と歴史』三省堂 1992
伊藤比呂美 他	「特集 アメリカ・インディアン」(『ユリイカ』第24巻第3号) 青土社 1992
岡田 宏明	『北の文化誌 雪氷圏に生きる人々』アカデミア 1994
C.ハミルトン編	『北米インディアン生活誌』(横須賀孝弘監修) 社会評論社 1994
新保 満, 吉田隆志	「北アメリカの先住民 インディアン」(『季刊 民族学』68 所収) 国立民族博物館 1997

八木 清	「イヌピアック・エスキモーのクジラ漁」(『季刊民族学』90所収) 国立民族博物館 1999
ダイアナ・アティア	『アメリカ先住民女性 大地に生きる女たち』(鈴木清史, 渋谷瑞恵共訳) 明石書店 1999
菊地 東太	『パウワウ アメリカ・インディアンの世界』新潮社 1999
アーサー・C・パーカー	『アメリカ・インディアン How ブック』(平尾圭吾訳) 集英社 1999
ダン・アードランド	『大平原の戦士と女たち 写されたインディアン居留地の暮らし』(横須賀孝弘訳) 社会評論社 1999
(ワールド・ムック 244)	『インディアンの生き方』ワールドフォトプレス 2000
(ワールド・ムック 245)	『インディアン・ジュエリー』ワールドフォトプレス 2000
(ワールド・ムック 257)	『インディアンの魂とアートにふれる旅』ワールドフォトプレス 2000
(ワールド・ムック 266)	『インディアンの声を聞け』ワールドフォトプレス 2000
マーガレット・フィート	『アメリカ・インディアンの世界 生活と知恵』(熊崎保訳) 雄山閣出版 2000
塩浦 信太郎	『インディアンの知恵 心が曇ったら空を見よ』光文社 2001
岸上 伸啓	「イヌイットの石製彫刻」(『季刊 民族学』102所収) 国立民族博物館 2002
ロバート・A・トレナー ト Jr.	「アリゾナ・フェニックス・インディアン学校」(『世界人権問題叢書』43, 齊藤省三訳) 明石書店 2002
木村 和男	『カヌーとビーヴァーの帝国 カナダの毛皮交易』山川出版社 2002

(3) 宗教・精神生活	
ブラック・エルク口述 J.G. ナイハルト著	『ブラック・エルクは語る スー族聖者の生涯』(弥永健一訳) 社会思想社 1977
ウイリアムス・ルイス・村上直次郎編	『マクドナルド「日本回想記」インディアンの見た幕末の日本』(冨田虎男訳訂) 刀水書房 1979
エレヌ・アイアंक ラウド	『鷺の羽衣の女』(菊池敬一訳) 徳間書店 1983
北山 耕平	『ネイティブ・マインド アメリカ・インディアンの目で世界を見る』地湧社 1988
マイケル・ハーナー	『シャーマンへの道』(吉田伸逸監修 高岡よし子訳) 平河出版社 1989
ジェームズ・ムーニー	『ゴースト・ダンス』(荒井芳廣訳) 紀伊國屋書店 1989
ダグ・ボイド	『ローリング・サンダーメディスン・パワーの探求』(北山耕平訳) 平河出版社 1991
サン・ベア, ワブン・ベア	『メディスン・ホイール シャーマンの処方箋』(小林加奈子訳) ヴォイス 1991
ブラッド・スタイガー	『スーパー・チャネリング 驚異の古伝的超脳術』(秋山真人訳) 騎虎書房 1991
ジョーン・ハリファックス	「シャーマン」(『イメージの博物誌』26, 松枝到訳) 平凡社 1992
アーネスト・シートン	『レッド・マンの心』(近藤千雄訳) 北沢図書出版 1993
フランク・ウォーターズ	『ホピ 宇宙からの聖書 神・人・宗教の原点』(林陽訳) 徳間書店 1993
メディソン・ストーリー	『インディアンの愛』(大坪奈保美訳) 地湧社 1994
阿部 珠理	『アメリカ先住民の精神世界』NHK ブックス 1994
サン・ベア, ワブン・ウインド	『インディアンの大予言』(加納眞二・三村寛子共訳) 扶桑社 1994
リンダ・ホーガン	『地に抱かれて』(浅見淳子訳) 青山出版社 1996
ミッシェル・ビクマル	『インディアンの言葉』(中沢新一訳) 紀伊国屋書店 1996

S・ウォール, H・アーデン	『ネイティブ・アメリカン 叡智の守りびと』(船木アデルみさ訳) 築地書館 1997
アーニー・ビューロー	『ナバホ・タブー』(ぬくみちほ編訳) パロル舎 1997
レイム・ディアー口述	『インディアン魂』(リチャード・アードスヘン編 北山耕平訳) 河出書房新社 1997
アレン・チャック・ロス	『我らみな同胞 ミタクェ・オヤシン インディアン世界の深層世界』(スーザン小山訳) 三一書房 1997
ブラックウルフ・ジョーンズ, ジーナ・ジョーンズ	『ネイティブ・アメリカン 聖なる言葉』(加藤諦三訳) 大和書房 1998
ポーラ・アンダーウッド	『知恵の三つ編み』(星川淳訳) 徳間書店 1998
ナンシー・ウッド	『シャーマンの環 過去, 現在, 未来が溶け合う聖なる知識』(井上篤夫訳) 講談社 1998
ジョセフ・ブルチャック	『『れでもあなたの道を行け』(中沢新一・石川雄午訳) めるくまーる 1998
L・クロウ・ドッグ, R・アードス	『魂の指導者クロウ・ドッグ スー族メディスンマンの物語』(伊藤由紀子訳) サンマーク出版 1998
トム・ブラウン Jr.	『グランド・ファーザー』(飛田妙子訳) 徳間書店 1998
エリコ・ロウ	『アメリカ・インディアンの書物より賢い言葉』扶桑社 1999
北山 耕平	『虹の戦士』大田出版 1999
ジェミー・サムズ	『アメリカ・インディアンの聖なる大地の教え』(エリコ・ロウ訳) 扶桑社 2000
ノーバート・S・ヒル Jr.	『俺の心は大地とひとつだ インディアンが語るナチュラル・ウィズダム II』(ぬくみちほ訳) めるくまーる 2000
エリコ・ロウ	『聖なる旅の教え』扶桑社 2001
加藤 諦三	『死ぬことが人生の終わりではないインディアンの生きかた』扶桑社 2001

(4) 現代のインディアン	
本多 勝一	『アメリカ合州国』朝日新聞社 1970
シムチェンコ	『極北の人たち』岩波書店 1972
G・ド・ポンサン	『極北の放浪者エスキモー』(近藤等訳)新潮社 1972
青木 やよひ	『ホピの国』潮出版社 1975
梅棹忠夫 監修	「北アメリカ エスキモーとインディアンの母なる大地」(『民族探検の旅』第7集)学習研究社 1977
上田 伝明	『インディアン請求委員会の研究』法律文化社 1979
原 ひろこ	『極北のインディアン』玉川大学出版部 1979(文庫版:中央公論社 1989)
藤木 高嶺	『カナダ・エスキモー再訪』立風書房 1980
一之宮 久	『帰ってきたナバホ』三一書房 1981
本多 勝一	『カナダ・エスキモー』朝日新聞社 1981
菊池 東太	『ヤタヘエ ナバホ・インディアン保留地から』佼成社出版 1981
宮松 宏至	『インディアン居留地を見たこと』草思社 1983
上田 伝明	『インディアンと合衆国憲法』法律文化社 1983
トーマス・F・ペティグ リュウ他	「現代アメリカの偏見と差別」(『世界差別問題叢書』2, 今野敏彦, 大川正彦訳)明石書店 1985
W・ラデューク, W・ チャーチル	「ネイティヴ・アメリカ 放射能植民地の政治経済」(『世界から』所収)アジア太平洋資料センター 1985
一之宮 久	『わが聖地を守れ!』三一書房 1986
菊池 東太	『ジェロニモ追跡』草思社 1987
煎本 孝	『カナダ・インディアンの世界から』福音館書店 1987
原 ひろこ	『ヘヤー・インディアンとその世界』平凡社 1989
大島 育雄	『エスキモーになった日本人』文芸春秋 1989
ジュリアン・バーガー	『世界の先住民族』(真実一美他訳)明石書店 1992

大築 準 編	「夜明けへの道 はじまりの 500 年に寄せてアメリカ先住民は語る」(『人間家族』特別号) スタジオ・リーフ 1992
徳井 いつこ	『スピリットの器』地湧社 1992
本間 正樹	『コヨーテは赤い月に吠える』文芸春秋 1992
エドワード・アビー	「砂の楽園」(『ナチュラリストの本棚』1, 越智道雄訳) 東京書籍 1993
グレテル・アーリック	「やすらかな大地」(『ナチュラリストの本棚』5, 明石三世訳) 東京書籍 1993
青木 やよひ	『ホピ 精霊たちの台地』PHP 研究所 1993
助安 由吉	『インディアンの大地が危ない!』エイト社 1993
鵜月 裕典	「インディアン問題」(ロナルド・タカキ『多文化社会 アメリカの歴史』所収) 明石書店 1995
安達 生恒	『アメリカ・インディアン体験』人文書院 1996
マイノリティ・ライツ・グループ	『世界のマイノリティ事典』明石書店 1996
スーザン・小川	『白人の国, インディアンの国土』三一書房 1996
スーザン・小川	『インディアン・カントリー 心の紀行』三一書房 1996
北沢 方邦	『ホピの聖地へ』東京書籍 1996
アーリーン・B・ハーシュフェルダー, ビヴァリー・R・スインガー編	『アメリカ先住民の子どもたち 父は太陽 母は大地』(愛川信子訳) 明石書店 1997
ジェーン・キャッツ	『風の言葉を伝えて=ネイティブ・アメリカンの女たち』(鈴木アデルみさ・船木卓也訳) 築地書館 1998
デイ・多佳子	『アメリカ・インディアンの現在』第三書館 1998
高橋 順一	『はるかなるオクラホマ ネイティブアメリカン・カイオワ族の物語りと生活』はる書房 2002

(5) 神話, 伝説	
ステイス・トムスン	『アメリカ・インディアンの民話』(皆河宗一訳) 岩崎美術社 1970
エラ・E・クラーク	『アメリカ・インディアンの神話と伝説』(山下欣一訳) 岩崎美術社 1972
モーリス・メティエ	『エスキモーの民話』(本多勝一訳) すずさわ書店 1974
ポール・ラディン他	『トリック・スター』(皆河宗一他訳) 晶文社 1974
フランク・ウォーターズ	『仮面の神々』上, 下巻(上村哲彦訳) 科学情報社 1975
山室 静	『新編世界むかし話集 10 - アメリカ・オセアニア編』社会思想社 1977
渡辺 茂男 編訳	『アメリカのむかし話』偕成社 1977
(小沢俊夫編 中村志朗・青山隆夫訳)	「アメリカ大陸 I, II」(『世界の民話』11, 12) ぎょうせい 1977
小沢 俊夫 編	「エスキモー他」(『世界の民話』24) ぎょうせい 1978
アラン・ダダス	『民話の構造 アメリカ・インディアンの民話の形態論』(池上嘉彦他訳) 大修館書店 1989
小沢 俊夫 編	『クマ男 アメリカ・インディアンのはなし』ぎょうせい 1982
ポール・G・ゾルブロッド	『アメリカ・インディアンの神話 ナバホの創世神話』(金関寿夫, 迫村祐子訳) 大修館書店 1989
コティ・バーランド	『アメリカ・インディアン神話』(松田幸雄訳) 青土社 1990
ハワード・ノーマン編	『エスキモーの民話』(松田幸雄訳) 青土社 1995
ポーラ・アンダーウッド	『一万年の旅路 ネイティブ・アメリカンの口承史』(星川淳訳) 翔泳社 1998
ウェルマ・ウォーリス	『ふたりの老女』(亀井よし子訳) 草思社 1998
徳井 いつこ	『インディアンの夢のあと』平凡社 2000

(6) 文学	
大橋健三郎	「フロンティアの意味」(『講座 アメリカ之文化』2) 南雲堂 1969
トーマス・バージャー	『小さな巨人』(佐和 誠訳) 角川書店 1971
レスリー・フィードラー	『消えゆくアメリカ人の帰還 アメリカ文学の原型 III』(渥美昭夫, 酒本雅之訳) 新潮社 1972
金関 寿夫	『アメリカ・インディアンの詩』 中公新書 1977
谷萩 弘道	『アメリカニズムの源流』 白凰社 1978
レスリー・M・シルコウ	『悲しきインディアン』(荒このみ訳) 晶文社 1982 (文 庫版:『儀式』講談社文芸文庫 1998)
ナウアル・S・モマディ	『レイニ・マウンテンへの道』(滝川秀子訳) 晶文社 1976
平野 孝 訳	「アメリカ・インディアン」(『アメリカ古典文庫』14) 研究社 1977
金関 寿夫	『魔法としての言葉』 思潮社 1988
ジュマーク・ハイウォーター	『アンパオ 太陽と月と大地の物語』(金原瑞人訳) 福 武書店 1988
ジュマーク・ハイウォーター	『〈幻の馬〉物語 全3巻』(金原瑞人訳) 福武書店 1989
マイケル・ブレイク	「ダンス・ウィズ・ウルヴズ」(松本剛史訳) 文芸春秋 1991
ジム・ウィルソン, ケ ビン・コスナー, マイ ケル・ブレイク	『ダンス・ウィズ・ウルヴズの世界』(小山起功訳) TBS ブリタニカ 1991
フォレスト・カーター	『リトル・トリー』(和田穹男訳) めるくまーる 1991
ヘメヨースツ・ストー ム	『セブン・アローズ I, II, III』(阿部珠理訳) 地湧 社 1992
上田 伝明	『インディアン研究の旅』 法律文化社 1994
ジェイムズ・F・クーパー	『モヒカン族の最後』上, 下巻 (犬飼和雄訳) 早川書 房 1995
フォレスト・カーター	『ジェロニモ』(和田穹男訳) めるくまーる 1995

W.P. キンセラ	『インディアン・ジョー フェンスポスト年代記』(永井淳訳) 文芸春秋 1995
巽 孝之	『ニュー・アメリカニズム』 青土社 1995
ナンシー・ウッド	『今日は死ぬにはもってこいの日』(金関寿夫訳) めるくまーる 1995
スーザン・パワー	『グラス・ダンサー』(小沢瑞穂訳) めるくまーる 1996
ナンシー・ウッド	『今日という日は贈りもの』(井上篤夫訳) 講談社 1997
ローラ・アダムズ・アー マー	『夜明けの少年』(和田穹男・アキコ・フリッド訳) めるくまーる 1998
ラッセル・フリードマ ン	『クレイジー・ホース』(ぬくみちほ訳) パロル舎 1998
ルーシー・マドックス	『リムーヴァルズ 先住民と十九世紀アメリカ作家たち』(丹羽隆昭監訳) 開文社出版 1998
シャーマン・アレクシー	『リザベーション・ブルース』(金原瑞人訳) 東京創元社 1998
シャーマン・アレクシー	『ローン・レンジャーとトント, 天国で殴り合う』(金原瑞人・小川美紀訳) 東京創元社 1999
シャーマン・アレクシー	『インディアン・キラー』(金原瑞人訳) 東京創元社 1999
プリシラ・コーガン	『老女の聖なる贈りもの』(ハーディング・祥子訳) めるくまーる 1999
ポーラ・アンダーウッ ド	『小さな国の大いなる知恵』(星川 淳訳) 翔泳社 1999
フランチェスカ・リア・ ブロック	『ウィーツイ・バットブックス』全5巻(金原瑞人, 小川美紀訳) 東京創元社 1999~2000
西村頼男・喜納育江編	『ネイティブ・アメリカンの文学 先住民文化の変容』ミネルヴァ書房 2002
リディア・マリア・チャ イルド	『孤独なインディアン アメリカ先住民名品集』(牧野有通訳) 本の友社 2000
ドロシー・ギルマン	『バックスキンの少女』(柳沢由美子訳) 集英社 2002
ジェラルド・ヴィゼナー	『逃亡者のふり ネイティブ・アメリカンの存在と不在の光景』(大島由紀子訳) 開文社出版 2002

(7) 幼児・児童向け	
エリオット・アーノルド	『白いタカ』(瀬田貞二訳) 岩波書店 1958
チャールズ・ギラム	『カラスのだんなのおよめとり』(石井桃子訳) 岩波書店 1963
スコット・オデール	『ナバホの歌』(犬飼和雄訳) 岩波書店 1974
内藤 誠	『インディアン日本をめざす』小峰書店 1978
ロバート・ホフシンド	『アメリカ・インディアンのえもじのえほん』(金石教子訳) 至光社 1980
クレイグ・K・ストリート	『おじいちゃんが冬へ旅立つとき』(小野章訳) あかね書房 1981
小野 かおる	『どんだトロップ』福音館書店 1985
ルイ・ルネ・ヌジュ	『アメリカ大陸の先住民』(福井芳男・木村尚三郎監訳) 東京書籍 1985
ジャネット・カラザズ	『森はぼくの王国』(渋沢道子訳) むぶん児童図書出版 1985
ウァジニア・ハミルトン	『わたしはアリラ』(掛川恭子訳) 岩波書店 1985
金関 寿夫	『アメリカ・インディアンはうたう』福音館書店 1986
秋野 和子	『ムースの大だいこ』福音館書店 1986
ジョアンナ・トゥロートン	『天の火をぬすんだウサギ』(山口文生訳) 評論社 1987
ノルミー・エコーミヤク	『極北のおもいで』(大窪伸敬訳) リプロポート 1990
日野 十成	『カガカガ』福音館書店 1991
カリン・フォン・ヴェルク	『ねずみの友だちから学んだこと』(平野?子訳) リブリオ出版 1992
金関 寿夫 訳	『おれは歌だ おれはここを歩く』福音館書店 1992
本間 正樹	『大地とともに』小峰書店 1993
バリー・ロペス	『カラスとイタチ』(金原瑞人訳) アスラン書房 1993

寮 美千子 編・訳	『父は空 母は大地 インディアンからの手紙』パロル社 1995
ジーナ・インゴリア	『ポカホンタス』(池内智佳子訳) 扶桑社 1997
バージニア・グロスマン	『大地のうさぎたち』(ぬくみちほ訳) パロル社 1997
ナンシー・ウッド	『コヨーテを愛した少女』(寮美千子訳) パロル社 1997

(8) 漫画	
白土 三平	「犬の島」(神話伝説シリーズ『ボロロ』所収) 小学館 1979
白土 三平	「セドナ」神話伝説シリーズ『ボロロ』所収) 小学館 1979
白土 三平	「野牛の歌」(神話伝説シリーズ『野牛の歌』所収) 小学館 1980
さいとうたかを	「甦るスタンディング・ベア」(『ゴルゴ・サーティーン・シリーズ 53』所収) リイド社 1980
坪田文太作画	「夢を求めて新世界へ」(武上文太シナリオ, 猿谷要・手塚治虫監修『アメリカの歴史』1) 中央公論社 1987
井上大助漫画	『アメリカ合衆国の独立と発展』(『まんが 世界の歴史』14, 遠藤泰生監修) 集英社 2002
谷口 ジロー	『天の鷹』双葉社 2002